

令和6年度備前県民局地域づくり支援事業 最終報告

実施団体：瀬戸内市観光協会

担当課：備前県民局地域づくり推進課

<事業名> せとうちアドベンチャーツーリズム（SAT）に求められる人材育成事業

<事業概要・各主体の役割>

（事業概要）

「日本のエーゲ海・牛窓」「日本刀の聖地・長船」他、全国区の地域資源を有する瀬戸内市を拠点にインバウンド富裕層、オーバーツーリズムやSDGs等に対応した持続可能な岡山発のアドベンチャーツーリズム（以下、AT）モデルを創出する。本事業では産官学連携のもと、研修によりATをコーディネートしながら地域資源を経済価値に結びつける次世代人材の発掘、開発を行う。同時に、高齢化による後継者問題に直面する地域の歴史・伝統文化の継承にも取り組む。事業を通じて備前地区及び吉井川流域等の広域な観光産業発展に寄与する。

（各主体の役割）

- ・実施団体：地域住民や会員事業者の参画推進、事業の企画実施（進行管理、勉強会・研修会調整、講師選定、学生連携、人材及び参画事業者開発、コンテンツ磨き上げ・旅行商品造成販売、プロモーション）。
- ・担当課：事業企画協力、補助金交付、広報協力

<実施状況>

せとうちアドベンチャーツーリズム研修会・勉強会スケジュール

年月	実施内容	場所	対象者・講師他	摘要
6月22日	フォーラム（オープン）	ホテルリマーニ	関係者、住民、行政他 会場120名 オンライン50名	
6月26日	ガイド等育成基礎知識研修会 2部制	オンライン	事業者・参画希望者 *講師 山下真輝氏/水口猛氏	座学
7月24日	コンテンツ事業者勉強会①	備前市日生頭島（Shinobi）	観光事業者 *講師 岡山理大/林准教授 備前観光協会	座学
8月21日	ガイド等育成実地研修会①底引き網	備前市内	コーディネーター・ガイド *講師 備前観光協会	実地
9月30日	コンテンツ事業者勉強会② 刀剣鑑賞会	長船刀剣博物館	観光事業者 *講師 トミ マーカン氏・金工師 片山氏	座学
10月21日	ガイド等育成実地研修会② 1日目	牛窓町前島	コーディネーター・ガイド *インストラクター 小野塚昌博氏 他	実地・座学
～22日	ガイド等育成実地研修会② 2日目	寒風陶芸会館	*インストラクター 陶芸会館 三浦氏	実地
11月20日	コンテンツ事業者勉強会③・実地研修会	玉野市淡川	観光事業者 王子が岳ルパン *講師 玉野市観光協会	実地・座学
12月19日	ガイド等育成実地研修会③	玉野市宇野	コーディネーター・ガイド *インストラクター サイクリング DS小林氏	実地
1月22日 ～23日	コンテンツ事業者勉強会④・実地研修会	牛窓町	観光事業者 牛窓サイクリング モデルコース及び報告書作成 *講師 岡山理大/林准教授	実地・座学
2月22日	事業報告会（オープン）	牛窓テレモーク	関係者、住民、行政他 事業成果・商品発表	

<成果・効果>

実施団体：

① 6月22日 SAT フォーラム

AT に対する地域及び観光系事業者の期待の大きさやインバウンドの拡大によるオーバーツーリズムへの対応等、課題解決の視点からも大きな関心があることが把握できた。さらに地域の産官学金言民が広く取り組めるテーマとして観光系事業者以外にも、メディアや国の行政機関から本事業に対して広報や環境整備について協力の申し出が寄せられる等、フォーラム開催の成果が十分に感じ取れるキックオフとなった。また、翌週からスタートするプログラムの組立について、講師やアドバイザー達との作り込みを入念に行う必要性を痛感した。

② 6月26日 ガイド等育成基礎知識研修会 2部制

フォーラムでの山下氏の講演(AT導入(総論)編)を受けて、実際の取組に向けた実践編(各論)について山下氏に加え、「アドベンチャートラベルワールドサミット(ATWS)」in 北海道 2023」実現を支えた水口猛氏からの終日 Web 講座を開催。フォーラムでどの程度の事業者が関心を持ったかの目安としていたが、午前・午後通して 40 名前後の視聴があり、引き続き注目していることが分かった。AT に求められるストーリーテリング、インタープリテーション、エモーショナルなどの要素について、ハード整備に偏ることなく富裕層、顧客満足を高めるテクニックの説明から、最後には「覚悟」について、1 日が「あつという間」の基礎知識研修会であった。翌月からの実践編に対するアンケートを実施することで、プロジェクト参画者(事業者)の顔が見え始めてきた。

③ 7月24日 コンテンツ事業者勉強会① 備前市

基礎知識を学んだ関係者が、備前エリア各地のコンテンツ学習と実地研修を通じて、ガイド・コーディネーター人材としてのステージに進むことを参加者に意思統一した。備前観光協会より、地元の AT コンテンツ候補の情報共有があり、8 月の実地研修会の内容を決定。アドバイザーの林先生から、内外のサイクルツーリズムのポテンシャルについて講演があり、当事業において以降の研修会に組み込むこととなった。

午後は、参画事業者のインバウンド向け宿泊施設 Villa Shinobi を視察。

④ 8月21日 ガイド等育成実地研修会① 備前市

備前観光協会の案内のもと、底引き網体験と日生頭島漁港まち歩きを実施。酷暑の中、漁船の上でのプログラムを実際に体験。船内で蒸したエビやシャコなどをついばみながらガイドから漁師や船長個人にスポットを当てた話、海の環境、ゴミ問題等、日本の農山漁村の生活や環境問題に関心の高い欧米層には、極めて有効な素材と理解できた。漁村まち歩きは、この土地ならではの特別感を出す必要性を感じたが、そこで作業する漁師とさり気無く話をする場を作ることが、まさに AT の基本となることも学べた。

⑤ 9月30日 コンテンツ事業者勉強会② 瀬戸内市備前長船刀剣博物館

講義① トゥミ マーカンさん 「長船と日本刀」

長船が日本刀の聖地である理由、日本における備前刀の存在感、歴史の深さや価値の高さ等、日本刀の基礎を学びながらインバウンド向けにどのように日本刀の魅力を伝えていくべきか、SAT プロジェクトのコンテンツとして、どのように活用していくべきかを

考える機会となった。

講義②片山恒重さんによる「刀職人と日本刀販売について」

真剣を用いながらの説明を受け日本刀への理解を更に深め、日本刀が由来となった言葉（反りが合わない）等、改めて日本人に宿る日本刀の存在感を理解した。プロジェクトに関わるガイドが、お客様に対して魅力的に説明できることで、SAT のコンテンツとしての価値向上がさらに図れることを理解した。

⑥ 10月21日 ガイド等育成実地研修会② 瀬戸内市
～22日

牛窓ウォータートレイル小野塚様より、牛窓にて25年以上ビジネスとして取り組む秘訣について説明があった。自然相手の商売、悪天候でツアーキャンセルのリスクが伴う商売だが、「安全第一」を最優先してきたことが長く商売を継続できた要因。体験商品については、可能な限り「中止のリスクを回避するルート」を当日の気象状況により決定。牛窓は「風待ち・しおまち」の港町として栄えてきた歴史からも、船の運航において波や風を回避する術、豊富な知恵を持つ地域。悪天候によるツアーキャンセル及び予約の断り方のテクニックが大切。これにより80～90%は、日を改めることで戻ってくる。SAT プロジェクトのコンテンツとして、天気相手のビジネスについていかに工夫をしていくべきかを考える機会となった。

⑦ 11月20日 コンテンツ事業者勉強会③ 玉野市

パンフレット「玉野人」を使いながら、地域ゆかりの人物にスポットを当て、歌人西行法師が渋川海岸で歌を詠んだとされることから、「西行まつり」が30年以上開催されていること、日本で初めて空を飛んだとされる鳥人幸吉（浮田幸吉）が、同市八浜生まれであること等の説明があった。同市におけるATについては、王子が岳絶景ハイキング・奇岩探索ツアー&パラセーリング（タンデムフライト）体験が、インバウンド向け一押し。造船所（dock）や銅精錬所及び塩田業に関連する歴史スポットを巡る産業遺産体験ツアーも提案された。野鳥観察等でe-bikeを活用したプログラムの造成を進める予定。12月の実地研修会・コンテンツ勉強会で深堀をする事となった（たまのサイクリングマップ配布）。HARE IRO CYCLING コースに対しての理解も深めた。

⑧ 12月19日 ガイド等育成実地研修会③ 玉野市

観光協会の阿部さんより、市全体の歴史や文化的な背景、現況や観光客実態について伺った。宇野港には直島へ行く外国人観光客が多くいるが、そういった観光客を宇野港以外の市内のエリアへあまり誘導できていないことが課題とのこと。自転車を使って観光することで、車やバスでの観光では不可能な町並みの細かいところに気付いたり、歴史を感じることができた。潮の香りなど自然を感じながら身体を動かすことの気持ちよさを感じることのできたツアーだった。

⑨ 1月22日 コンテンツ事業者勉強会④ 瀬戸内市
～23日 ガイド等育成実地研修会④

コンテンツ事業者勉強会・ガイド等育成実地研修会ともに最終回。観光協会の案内のもと、牛窓で展開されているアートプロジェクト「Ushimado Harmonia」の中の最新オブジェ「港風のサーカス」に向け、黒島、犬島、遠く小豆島などを眺めながら、牛窓テレ

モークを経由したサイクリング。「港風のサーカス」（ヨットハーバー隣接）到着後、ヨットハーバーや山側の牛窓オリーブ園内にあるオブジェ「ランデブー」、向かいの前島にある「リフレクティブアイ」等について説明があった。昭和の漁村風景が残るしおまち唐琴通りを巡った後、サイクリングマップを参考に各自で、オリーブ園や牛窓神社などを巡った。20 台近く車両を保有していることから、手軽に楽しめる体験商品と理解できた。課題として、サイクリング専門ガイドがいなかったため、ガイドツアーは、協会職員によるグループ限定とのこと。夕刻から翌日にかけて、各自が滞在型 AT モデルコースの組み立てを行い、商品の推し、ストーリー、プライシング、原価管理等報告会での発表の準備を進めた。この過程で、プライシングでは、商品の付加価値を高めるアイデアを盛り込み、販売価格に説得力の伴うストーリーテリングを意識するなど、AT 人材としての意識が備わっていることを感じ取ることができた。

⑩ 2 月 2 2 日 事業報告会 瀬戸内市牛窓テレモーク

連休初日の開催にも拘わらず、プロジェクトメンバーも含め約 30 名の参加のもと報告会を開催。SAT 協議会事務局から 1 年間の取組報告を行った。プロジェクトメンバーからの AT 滞在商品や自身の一押しプログラム等の発表に続き、修了証書が授与された。協議会会長からは、報告会で「終了」ではなく、ここから関係者が連携しながら、「みんなで稼いでいこう」という激励の挨拶で閉会となった。プロジェクトは、今後マネタイズの段階に入る。さらに倉敷等をはじめ県内、広島のコテンツ事業者と緊密な展開を可能とする、「SETOUCHI アドベンチャーツーリズム・ネットワーク」の構築に向けて、主体的に携わる人材が、この事業から輩出されていくことに期待したい。

担当課：

- ・当初の想定を上回る 10 名のガイド・コーディネーターを育成することができた。また、モデルコースについても、様々なテーマ設定がなされたものが計 9 つ完成し、幅広い層に対応できるものとなった。すでに、収益化が始まっている事業者も出始めていると聞いており、今後が期待される。

<課題・今後の方向性>

(課題)

実施団体：

プロジェクトの目的は「人材育成」である一方で、アドベンチャーツーリズムによって地域経済が潤うことをも重視してきており、プロジェクトでまとめられたモデルコースを磨き上げ、実際の旅行商品として市場にて利益を上げるスキームの完遂が求められる。プロジェクトメンバーの連携を継続し、次年度計画されている展開の中で「マネタイズ」を実現する。

担当課：

- ・多くのインバウンドの来訪が見込まれる万博や瀬戸芸の開催を控える中、旅行商品として収益を上げるスキームの完遂が急がれるとともに、旅マエで、どのように海外に情報発信していくかが課題である。

（今後の方向性）

実施団体：

備前県民局管内で展開してきた SAT プロジェクト「人材育成事業」は、当初は、事業終了時に 5 名程度のエリアコーディネーターの育成及びネットワークの構築を目標としていた。

結果として、備前・瀬戸内・玉野・岡山各市から 1 年間を通じて 10 名もの受講者が、真剣に本事業に向き合い、最終報告会にて SAT 協議会より修了証書を授与された。今後は、SAT に対して寄せられている広島アドベンチャートラベルや鏡野町観光局、備中エリアの高梁川トラベル、真庭観光局等の連携を希望する声に対して、岡山県観光連盟の協力を仰ぎながら、SAT 修了者と積極的な参画を促しつつ、四半期に 1 回程度で各地を回る「出前講座（実地研修会）」として、事業拡大、ネットワーク強化を図っていく。

担当課：

- ・他地域との連携により、より魅力的な観光コンテンツが開発されていくことが期待される。また、備前県民局管内での広がりに向けた取組にも期待している。
- ・備前県民局としても、情報発信等について、実施団体と連携を図っていきたい。

せとうち アドベンチャーツーリズム フォーラム

2024年6月22日
in ホテルリマーニ

■講演

アドベンチャーツーリズムで せとうちを世界へ！



(一社) 日本AT協議会 理事

山下真輝 氏

■パネルディスカッション

せとうちの強みを生かした アドベンチャーツーリズムが 地域に及ぼす効果

パネリスト アドベンチャートラベル大全 著者 水口猛
岡山理科大学准教授 林恒宏
日本刀研究家 ポールマーティン



フォーラムの様子をyoutubeで配信します。
こちらのQRコードからご視聴下さい。



開催概要

日時 2024年6月22日(土) 15時～17時半
※受付開始14時半～

場所 ホテルリマーニ
岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓3900

参加費 無料 **定員** 100名

懇親会

時間 フォーラム終了後 18時～
場所 牛窓テレモーク
(会場から徒歩5分)
会費 5,000円 **定員** 50名

お申し込みは
こちらの
QRコードから

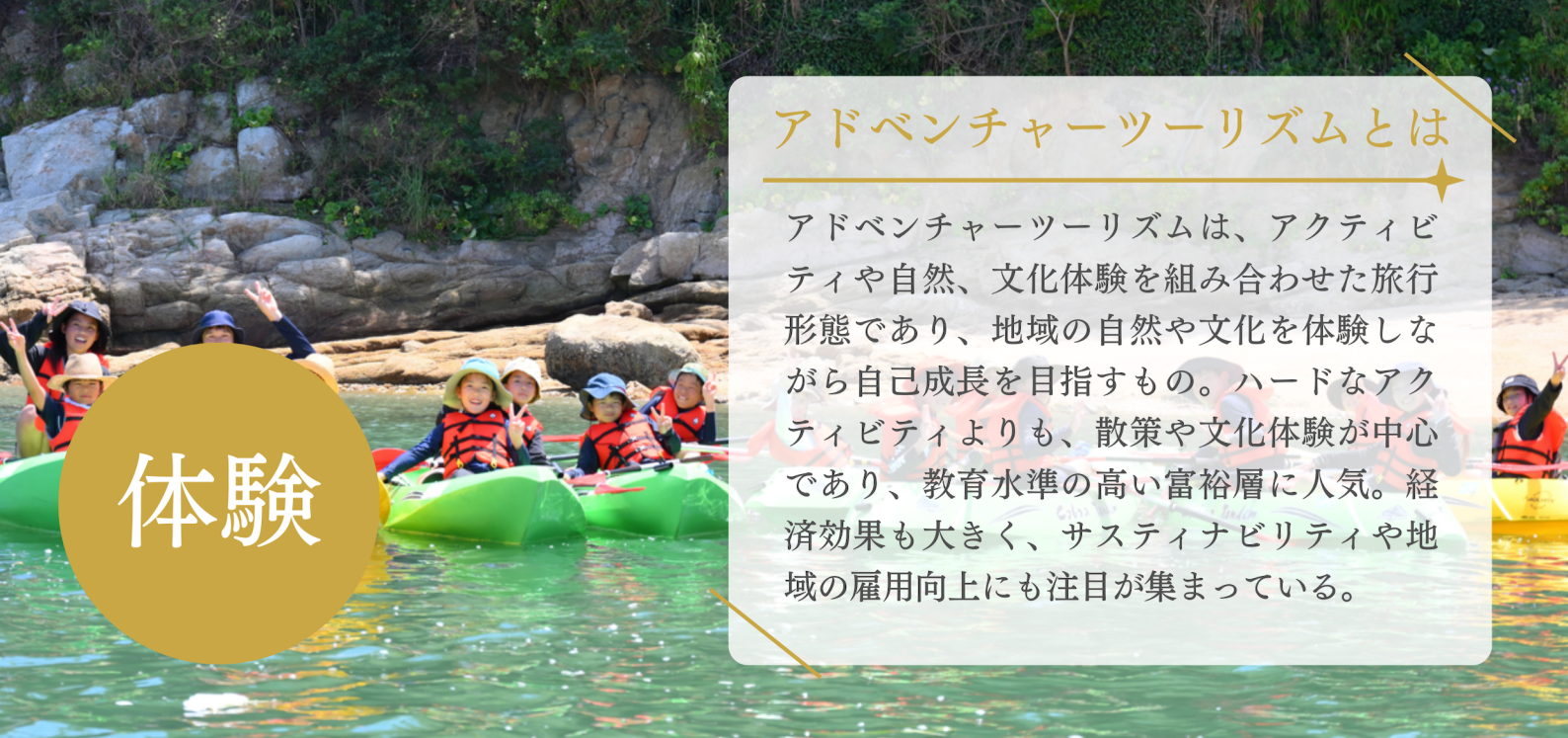


〔主催〕 せとうちアドベンチャーツーリズム協議会

〔共催〕 瀬戸内市観光協会、岡山理科大学、吉備高原オープンイノベーション協会(KOIA)

〔後援〕 瀬戸内市、玉野市、岡山県観光連盟、玉野市観光協会、備前観光協会
山陽新聞社、RSK山陽放送、中国運輸局

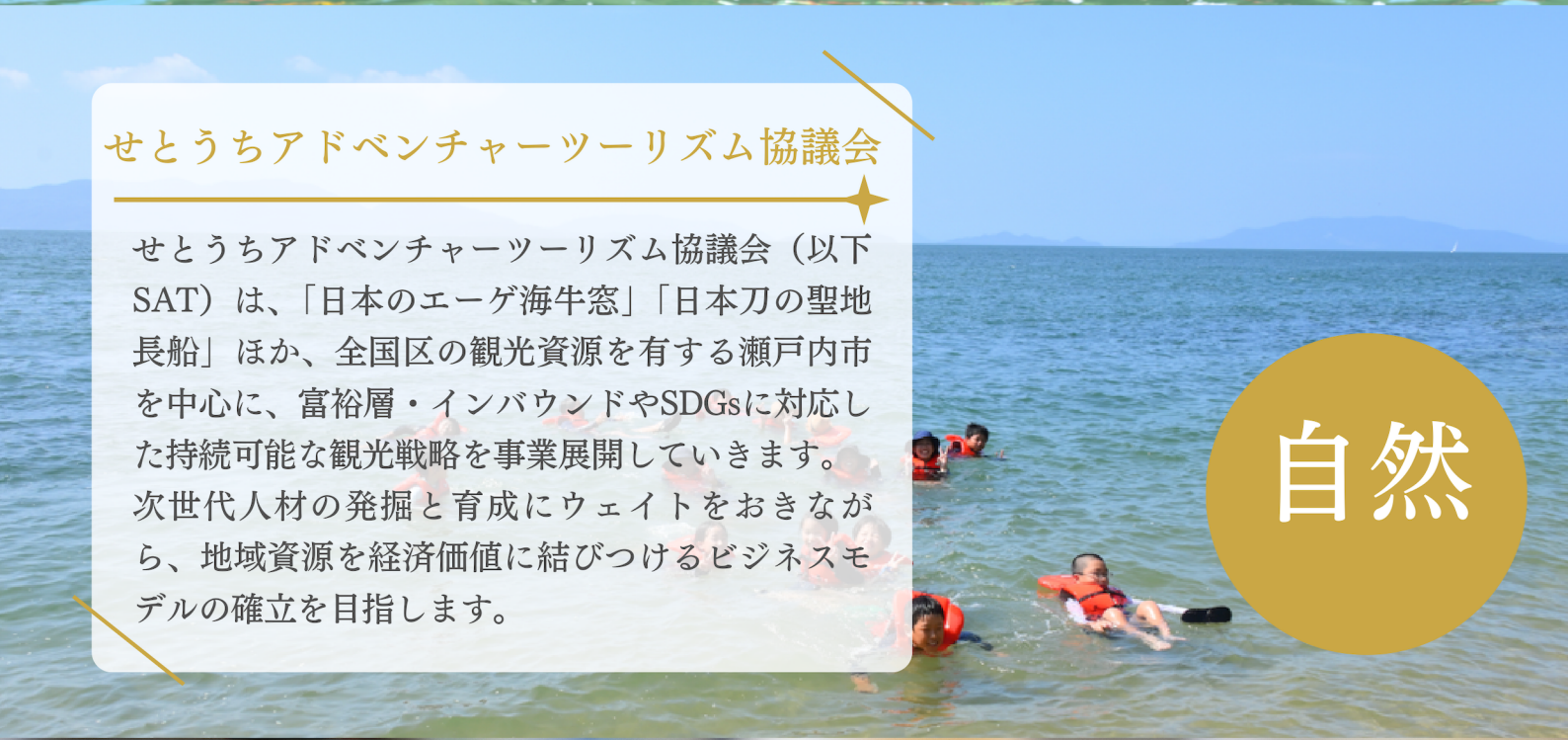
問い合わせ先 瀬戸内市観光協会 TEL:0869-34-9500



体験

アドベンチャーツーリズムとは

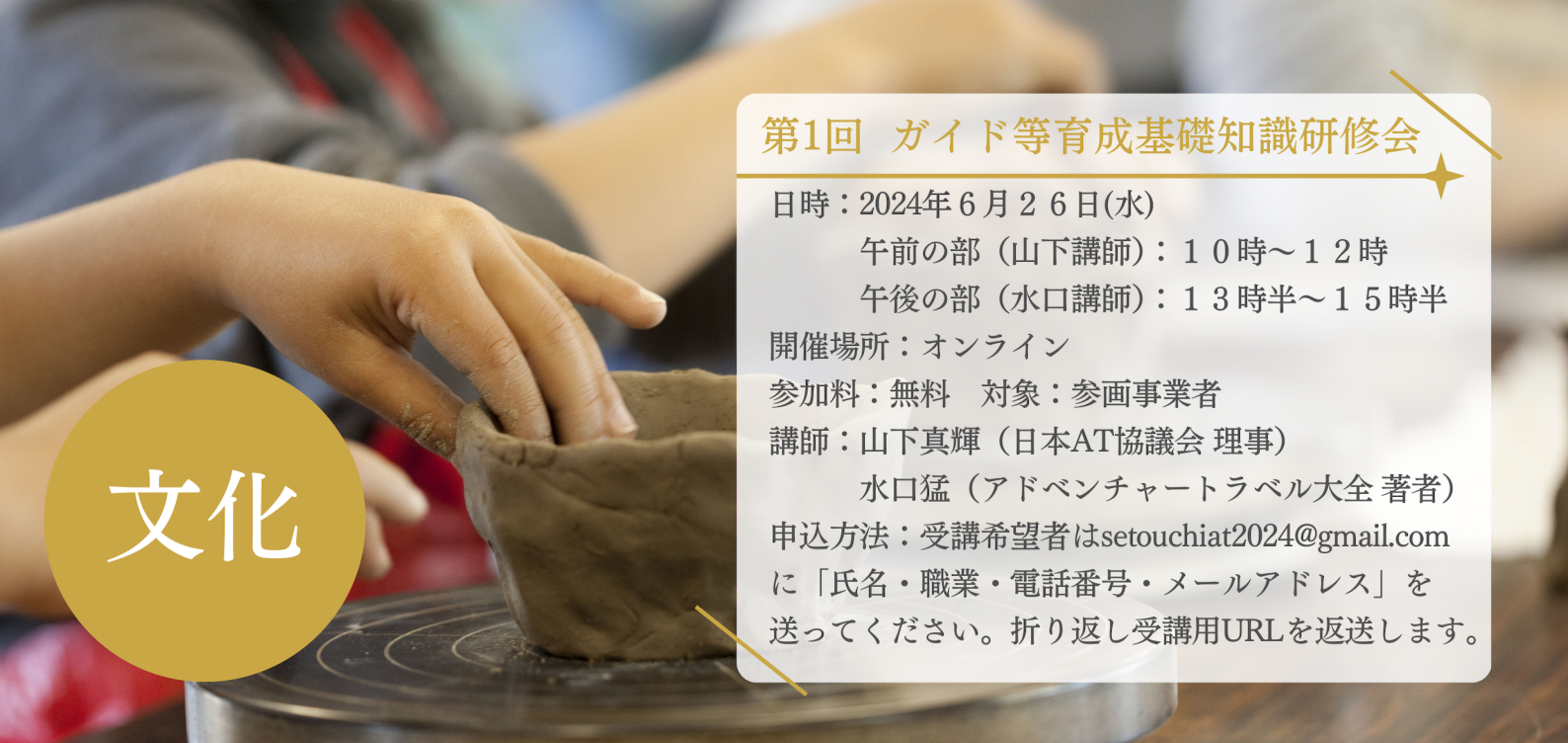
アドベンチャーツーリズムは、アクティビティや自然、文化体験を組み合わせた旅行形態であり、地域の自然や文化を体験しながら自己成長を目指すもの。ハードなアクティビティよりも、散策や文化体験が中心であり、教育水準の高い富裕層に人気。経済効果も大きく、サステナビリティや地域の雇用向上にも注目が集まっている。



せとうちアドベンチャーツーリズム協議会

せとうちアドベンチャーツーリズム協議会（以下SAT）は、「日本のエーゲ海牛窓」「日本刀の聖地長船」ほか、全国区の観光資源を有する瀬戸内市を中心に、富裕層・インバウンドやSDGsに対応した持続可能な観光戦略を事業展開していきます。次世代人材の発掘と育成にウェイトをおきながら、地域資源を経済価値に結びつけるビジネスモデルの確立を目指します。

自然



文化

第1回 ガイド等育成基礎知識研修会

日時：2024年6月26日(水)

午前の部（山下講師）：10時～12時

午後の部（水口講師）：13時半～15時半

開催場所：オンライン

参加料：無料 対象：参画事業者

講師：山下真輝（日本AT協議会 理事）

水口猛（アドベンチャートラベル大全 著者）

申込方法：受講希望者はsetouchiat2024@gmail.comに「氏名・職業・電話番号・メールアドレス」を送ってください。折り返し受講用URLを返送します。